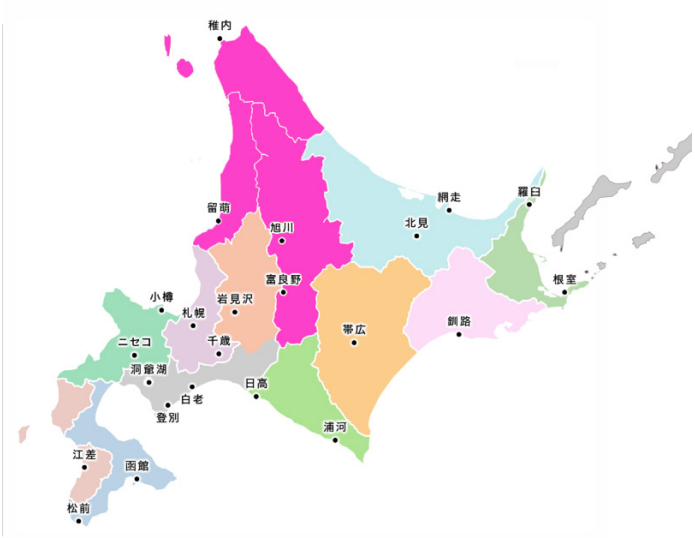
道　北　支　部　紹　介

Dohoku branch introduction



支部の概要

道北支部のエリアは、宗谷＜１市７町１村＞・留萌＜１市７町１村＞・上川＜４市 18 町２村＞計６市 32 町４村　です。 支部発足は、平成９年(1995)４月で、160 名程の登録者数であったのが、現在では、５０名を切っているという現状です。

年２回（５月と２月）開催の理事会では、ブロック研修会に関する議題を中心に話し合い、飲ミニケーションでは、支部の将来展望（支部存続の危機？）など、役員各自の思いを語っていただいています。＜昨年度、一昨年度は、コロナで中止＞

所在地

旭川市末広１条５丁目 1-6
北海道新聞（有）高橋新聞店

連絡先

０１６６－５１～３８４３
E-Mail　takahashi@oragamachi.co.jp

支部長　　新田　一夫（旭川市）
副支部長　手代木　荘司（稚内市）　貝森　将之（留萌市）　手塚　栄昭（旭川市）
事務局長　高橋　正雄（旭川市）　事務局次長　細谷　雄一　（旭川市）
理　　事　下田　　学（苫前町）　山名　賢一（南富良野町）　加納　修（士別市）
上野　和香子（当麻町）　北川　義人（富良野市）　成田　幸男（稚内市）
小原　和宏（旭川市）
監　事　瀬田　克己（上富良野町）　重原　浩貴（旭川市）

道北支部の歩みと原状そして将来の展望

平成６年度の道指導協総会＜平成７年（1995）３月４日＞で規定改正があり、５支部の導入が決定しましたが、道北支部が発足したのは、その２年後の平成９年（1997）４月であり、以後、２６年間、九軒（故人）支部長＜H9 ～ H26 ＞から森支部長＜H 27 ～ H30 ＞へ、そして、平成 31 年（2019）から現支部長の新田へと引き継がれてきております。　この間、平成 14 年(2002)のブロック研修会を稚内市で開催し、以後、1 年おきに上川管内、4 年おきに留萌･宗谷管内で実施する「ローテンション制」を取り入れ、現在に至っています。また、少ない支部予算を工面して、平成 15 年（2003、旭川市）・平成 16 年（2004、上川･宗谷･留萌）の２年をかけて、日体協公認スポーツ指導者有資格者への「アンケート調査」を実施して、「道指導協への認識の低さ」、更には、「支部組織に対する無関心さ」が浮き彫りとなりましたが、有資格者指導者の大多数が、スポーツの指導に携わっているという実態も明らかになりました。　そして、平成 23 年（2011）３月＜東日本大震災の年＞には「支部便り（創刊号)」を発行し、「登録名簿」を配布して、会員交流になればと取り組んできた経緯もあります。＜現在は中止＞

支部の課題　　各支部（道指協）とも悩んでいる問題は、「会員登録数の減少」だと思います。

道指協の発足当時の会員登録数と現在を比較すると三分の一？いや四分の一でしょうか？過っての登録会員は、「競技別指導者の有資格者」が大半であったと思います。

その登録会員の高齢化に伴う自然減少が、原因の一つだと考えられます。

その他にも色々な原因があろうかと思われますが、現在の日本スポーツ協会公認資格もスポーツドクターや総合型地域スポーツクラブ等に関するマネジメント指導者などと多様化しており、様々な形での有資格者がおります。

そうした中で、指導協の今後の果たす役割や存続の目的・目標を皆様で考えてみませんか？そして、若い指導者＜有資格者＞が加入したくなるような「魅力ある指導者協議会」を構築していきませんか？ということを申し上げ、報告といたします。

※誤りを訂正しました。